

分野 歴史

地域 浜玉

## 横田下古墳 ～国指定史跡～

◎地図・写真・統計資料など



薄い割石を積んだ形式の玄室



石棺に入っていた副葬品共に出土した高坏から、これらの遺物は5世紀前半から中頃のものと考えられる。

(『佐賀県の文化財』より)

### ■横田下古墳 (よこたしもこふん)

鏡山の北東の麓で北へ延びる丘陵、標高60mに立地する。墳丘の西側から南側を削平されるが、推定直径約30mの円墳である。

内部主体は単室の横穴式石室で、玄室は長さ3.95m、前幅1.8m、奥幅2.25m、高さ2.34mあり、玄武岩の扁平割石を持ち送り式に平積みし、天井部は扁平な花崗岩3石を載せる。壁面全体に赤色顔料が塗られている。石室内には、3つの石棺があり、獣帯鏡、方格規矩鏡、筒形銅器、短甲、直刀、鉄鏃、勾玉、管玉、丸玉、土師器高坏、甕が副葬されている。5世紀前半～中頃に築造されたと考えられ、朝鮮半島にその源流をもつ、九州における横穴式石室の初現期の様相を示すものとして極めて重要である。

昭和26年6月9日指定

唐津市浜玉町横田下字西の谷743

古墳

◎引用・参考文献 (出典)

◆『佐賀県の文化財』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)